



発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
クリエイティブサンエイ

平成二十九年度代議員会開催 思いやりの活動方針決する

去る四月二十九日（土）中央支部の代議員会が開催された。支部長の挨拶に続いて来賓あいさつ及び紹介があった。鶴田浩一委員（仲町区長）が議長を務め、平成二十八年度の事業、決算報告、続いて平成二十九年度の事業計画並びに予算案が事務局より提案され承認された。

◎活動の重点目標と事業内容

- （一）活動資金の確保
 - 会員会費の募集（七月）
 - 福祉バザー（十月）
- （二）高齢者福祉活動の推進
 - しあわせサロン散策（五月に二班に分けて実施）
- （三）地域福祉活動の推進
 - 敬老会の支援協力（輪投、グランドゴルフ）
- （四）県立友部特別支援学校・福祉センター「たけのこ」の活動を支援
- （五）三世交代の推進
- （六）各行政区で実施される三世交代交流会の支援
- （七）研修会の実施
- （八）支部委員・福祉推進員・むつみ会員・広報委員を対象にした視察研修
- （九）女性部員の視察研修
- （十）普通救命講習会の実施
- （十一）広報活動の推進
- （十二）支部だより年三回発行

いあい

支部長 鈴木 征夫

私は、役員選考委員会の議により再び支部長に選任されました。よろしくお願いを申し上げます。

更に今回の役員改選では、二人の新任の方を迎えました。兩名とも支部活動に理解が深く協力的な方で、今後の支部運営に期待が膨らみます。

支部の課題の一つに活動資金の確保があります。会員会費の募集についてはご理解ご協力をいたしておりますが、尚一層のご協力をお願いする次第です。

おわりに、支部役員一致協力して支部活動向上に取り組む所存です。で、皆様方のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成28年度 決算報告書

【収入の部】			単位：円
科 目	決算額	摘 要	
前年度繰越金	161,652		
会員会費還元金	956,500	市社協より	
助成金	145,650	市社協より 福祉コミュニティ 広報助成金	
バザー売上金	452,250	ふるさと祭り	
雑収入	282,506	配食関係他	
繰入金	200,408	福祉活動予備資金より	
合計	2,198,966		

【支出の部】			単位：円
科 目	決算額	摘 要	
会議費	33,256	お茶代	
事務局費	35,800		
事務通信費	5,525	事務用品	
事業費	1,617,409	会費地区還元金 471,000 三世交代交流助成 60,000 グランドゴルフ輪投 60,000 配食サービス 638,920 広報誌発行 154,434 その他	
バザー開催費	151,823		
研修費	72,080	支部委員・福祉推進員 等研修	
予備費	0		
合計	1,915,893		

平成29年度 予算書

【収入の部】			単位：円
科 目	予算額	摘 要	
前年度繰越金	283,073		
会員会費還元金	950,000	市社協より	
助成金	140,000	市社協より 福祉コミュニティ 50,000 広報助成金 90,000	
バザー売上金	450,000		
雑収入	196,927	配食弁当代 他	
合計	2,020,000		

【支出の部】			単位：円
科 目	予算額	摘 要	
会議費	50,000	お茶代	
事務局費	30,000		
事務通信費	10,000	事務用品	
事業費	1,675,000	会費地区還元金・グランドゴルフ・輪投 配食サービス・しあわせサロン 広報誌発行 その他	
バザー開催費	150,000	バザー開催諸経費	
研修費	90,000	支部委員・福祉推進員 むつみ会・広報委員・女性部	
予備費	15,000		
合計	2,020,000		



会計監査
荒川 隆夫（再任）

会計監査
高野 康司（再任）

会 計
福島 和彦（新任）

副支部長
荒張 晴夫（新任）

副支部長
入江 廣（再任）

副支部長
井坂フヂエ（再任）

支部長
鈴木 征夫（再任）

平成二十九年度 支部役員紹介



な一日でした。

風薫る穏やかな日和に恵まれた五月十六日に中央支部「しあわせサロン」四十一名で、大洗町の「幕末と明治の博物館」と小美玉の「タカノフーズ」を見学に行ってきました。博物館では、等身大の明治天皇像に接し、また幕末の志士や明治の元勲の書画など拝見し、本当に偉大な方々で、この歴史があるからこそ今に繋がっているんだとしみじみ感じました。お昼タイムは、阿字ヶ浦で盛り沢山の食事を戴き、小美玉へ移動しました。おから製品の梱包まで大部分が機械の中を通過して出来上がります。本当にびっくりしました。出発から到着まで役員の皆さんには大変お世話になりました。有り難うございました。正に「しあわせ」

「しあわせサロン」に参加して

東町三区 安達 俱子

女性部総会

去る四月二十九日（土）代議員会に続き女性部総会が、開催されました。

女性部員百二十二人中八十余人の出席で、二十九年度支部事業推進への協力を確認しました。

すぐに、しあわせサロンの付き添い等、女性部の協力が始まりました。

毎月第三金曜日に実施している配食では、当番の班は、献立から買い物、調理、むつみ会の方々と一緒に配達と大活躍です。

特に献立は少ない予算で、工夫をし、百円を用意して待っている方々に大変喜んでいただいています。

福祉バザー、しあわせサロン会食等、女性部の協力が必要です。

近年、地域のさまざまな福祉課題の多い中、日々地域の見守り役として、支部活動に協力してまいりますので、宜しくお願い致します。

女性部役員紹介



部長
井坂フヂエ（再任）



副部長
渡辺 秀子（再任）



副部長
福田 紀子（再任）



副部長
松岡 和枝（新任）

両国の史跡めぐり

東町四区 南 秀利

笠間市社会福祉協議会中央支部の役員研修が、友部公民館の地域事業と共催で五月三十一日に実施されま

した。今年の研修は東京両国の史跡めぐりです。朝八時に社協会館を出発し、常磐道が空いていたため、予定よりも大分早く両国に着きました。まず、幕末明治にかけて活躍した勝海舟の生誕の地を見ました。小さな公園になっていて、海舟の生涯がパネルにして紹介されていました。下っ端の幕臣から若年寄り、明治政府の海軍大臣を勤め、日本の近代化に尽くしました。

両国小学校の片隅に、芥川龍之介の文学碑（「杜子春」）を見て、吉良邸跡に回りました。ここは本所松坂町公園になっていました。江戸時代の吉良上野介の屋敷は、東西七十三間、南北三十四間、二千五百五十坪で、母屋・長屋に百五十名が住んでいました。元禄十五年（1702）十二月十四日、大石内蔵助ら赤穂浪士四十七士が討ち入り、上野介の首級を取り、主君浅野内匠頭の仇を討ちました。この討ち入りに笠間生まれの堀部弥兵衛・吉田忠

左衛門・小野寺十内の三人が重鎮として活躍しました。



回向院の墓小僧次郎吉の墓

吉良邸の西側に回向院がありま

山回向院無縁寺を建立しました。天明元年（1781）境内で勸進相撲が行われ、これが大相撲の起源とされています。また、享保の大飢饉の折、餓死者の慰霊と悪病退散を祈願して水供養を行い、花火を打ち上げたのが、隅田川花火の始まりと伝えられています。境内に鼠小僧次

平成29年度 支部委員・福祉推進員名簿					
支 部 長	鈴木 征夫	(幸 町)	推 進 員	中島喜久男	(当の越1)
副支部長	入江 廣	(大沢中3)	同	箱守 清一	同
同	荒張 晴夫	(緑町3)	同	中崎 稔	同
同	井坂フヂエ	(青葉町)	同	榎本 明美	同
会 計	福島 和彦	(桜 町)	同	片岡由美子	(当の越2)
会計監査	高野 康司	(桜 町)	同	三澤佐登美	同
同	荒川 隆夫	(南 町)	同	根本佳代子	同
支部委員	内桶 誠史	(東町1)	同	菊部 早苗	同
同	石川 志郎	(東町2)	同	長谷川悦子	同
同	堀 賢二	(東町3)	同	鈴木ちよ子	(友部栄町)
同	永盛 正之	(東町4)	同	金澤 寛美	同
同	鶴田 浩一	(仲 町)	同	秋山 文江	同
同	荒川 隆夫	(南 町)	同	永堀 昌子	同
同	櫻井 正一	(西町1)	同	細谷 久子	(緑町1)
同	赤尾杉友一	(西町2)	同	瀬畑 洋子	同
同	佐藤 賢	(桜 町)	同	海野 二郎	同
同	山浦 紀昭	(当の越1)	同	大沼裕見子	(緑町2)
同	深井 文宣	(当の越2)	同	岩波喜代美	同
同	永堀 皓男	(友部栄町)	同	吉井 聖子	同
同	小松崎良夫	(緑町1)	同	小林 佐代	同
同	高木 俊幸	(緑町2)	同	西尾 篤子	同
同	松原 敏夫	(緑町3)	同	白澤 洋子	(緑町3)
同	橋本 洋治	(美原団地)	同	佐藤 勝枝	同
同	三須 啓勝	(四つ葉荘)	同	飯田 絹子	同
同	朝倉 茂利	(青葉町)	同	野村ふぢ子	同
同	中村 誠	(大沢中1)	同	荒張 富枝	同
同	谷島 和夫	(大沢中2)	同	荒張 晴夫	同
同	入江 廣	(大沢中3)	同	中野 尚子	(美原団地)
同	藤井吉太郎	(幸 町)	同	常井 和美	同
推 進 員	友水 雄一	(東町1)	同	佐々木京子	同
同	青木伸二郎	同	同	木沢 京子	同
同	広瀬 征三	同	同	渡辺 博	(青葉町)
同	望月 三郎	同	同	水柿 とし	同
同	山本千代子	同	同	鈴木 健浩	同
同	青木 重子	(東町2)	同	佐藤 貴之	同
同	友部 敏江	同	同	藤原謙一郎	同
同	上原 仁子	同	同	野村 道雄	同
同	友部 庄一	同	同	佐藤 崇	同
同	高久 良隆	(東町3)	同	入江 範	同
同	河原井克磨	同	同	小松崎 茂	同
同	荒川 将	同	同	井坂フヂエ	同
同	大沼 隆幸	同	同	菊地 操	(大沢中1)
同	大野 忠夫	(東町4)	同	菊地けい子	同
同	長谷川 清	同	同	水越 健二	同
同	岡本 真一	同	同	高屋まさい	同
同	高橋 均	同	同	中村美千代	同
同	島崎 正明	同	同	水越 愛子	同
同	嶋原 正己	同	同	稲毛 とく	同
同	塩田 浩二	同	同	佐藤 文雄	同
同	伊橋 理代	同	同	千葉 実	同
同	荒川 昌之	(仲 町)	同	寺田 恵子	(大沢中2)
同	小林 廣	同	同	貴志 敬介	同
同	村上さよ子	(南 町)	同	物井 寛智	同
同	島川 智子	同	同	出口 広志	同
同	鷺沼三枝子	同	同	今野 拓	同
同	坂本 直美	同	同	多川英久雄	同
同	福田 紀子	同	同	岡野 和江	(大沢中3)
同	須藤 康子	(西町1)	同	遠藤 真人	同
同	櫻井三枝子	同	同	中澤 まさ	同
同	横倉 きん	(西町2)	同	矢口 勝博	同
同	神崎 昭子	同	同	野村 省次	同
同	鶴田 弘司	(桜 町)	同	高田 眞弓	同
同	高安 たみ	同	同	入江 廣	同
同	石塚 伸江	同	同	井澤 素樹	(幸 町)
同	菅谷 正子	同	同	河原井蔵巳	同
同	内桶 浩司	同	同	深谷 清貞	同
同	末綱 範行	同	同	町井 郁子	同
同	笹沼 滋	同	同	小島 幸徳	同
同	高野 康司	同	同	鈴木 征夫	同
同	福島 和彦	同	同		

あとがき

季節の進むのが早いもので、楽しみにしていた桜花の時期もつかの間に過ぎ、野山はすっかり新緑になりました。

今回は代議員会・女性部総会を中心にスタートした新年度事業等を第109号としてお届けします。

また、広報委員の大野宏治さんが退任され、福島和彦さんが新任されました。広報委員一同皆さまに「読んでもらえる」内容に一層の努力をしてみたいです。

(横堀)



旧安田庭園